	通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	生活路	『線バス補助事	業			事業界	開始年度 🖺	<u>7</u> 成17年度		
担当課	総合政	(策部 総合政	策課		担当:	者 田	代 優美			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策	05	機能的で住み			Ė				
総合計画体系	施策	01	安全で快適な	` 交通環境	の充実					
	基本事	基本事業 01 公共交通機関の確保								
事業の目的	市民の	移動手段の確	保のため、市内の)公共交通	幾関を維持す	る。				
事業の概要	ため、	生活路線バス	車密度が0.5人以. 維持対策事業補助			格線バスの運行	経費を助成す	トる		
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6:	年度	バスの運行経費を助成する			
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績 当初			当初		
		総事業費	13, 723		13,	652	17	, 000		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指	票名称	単位	5年度			8年度		
	区分	וחנ	ホロが	+ 12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	関東自動車㈱が 当たりの運行本	運営する路線の1日 数	本	9	9	9	9		
	評価	」●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した O	達成できず	•	•		
達成度の 評価と説明	補助金の交付により、市内の2路線、1日あたり9本の便が維持できている。 説明									
見直し余地	判定		こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時	間が必要 〇名	戻地なし			
■将来方向性【		Action)]								
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	量 ■拡大()現状 〇縮/	J\		

事務事業調書(通常評		(評価)						
事務事業名	乗合タ	クシー事業				事業開	始年度 令	·和元年度	
担当課	市民生	活部 生活球	環境課		担当者	鈴:	木 剛		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	05	機能的で住み	ょやすい安	全な都市機能				
総合計画体系	施策	01	安全で快適な	交通環境	の充実				
	基本事	第 01	公共交通機関						
事業の目的	高齢等	の理由により	、車の運転ができ	ない市民の	の通院、買い物	勿等の利便性 <i>0</i>)向上を図る。		
申業の振声	旧氏家	町内又は旧喜	連川町内、あるい	いは旧喜連り	川町内から黒刻	頁病院間におし	ヽて、事前予 約	的を	
事業の概要			場所から降車場所	fまで輸送。)				
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	- 度	7:	年度	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	実績当初		当初	
	i	総事業費	24, 902		25,		34,	4, 600	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+15	插 夕	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	相	標名称	甲世	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	市内移動の交通 活に困っている	手段がなく、日常生 市民の割合	%	12. 2	11. 4	10	10	
	評価	●達成、	概ね達成した ()多少は達	成した 〇월	成できず			
達成度の 評価と説明	うのはな号・つういんコンタ号は横ばいだが、コンタ号は利用者が増加した。 説明								
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	除地なし		
■将来方向性【	改善(Action)]							
事業の方向性 ●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性			○現状 ○縮小		業務量	■ 極拡大()現状 〇縮小	١	

事務事業調書(通常評	価事業 事後	:評価)						
事務事業名	道路台	ì帳整備事業				事業開	始年度 平	成26年度	
担当課	建設部	3 建設課			担当者	金田金田	田 昂平		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				<u> </u>			
	政策	05	機能的で住み	ょやすい安	全な都市機能				
総合計画体系	施策	01	安全で快適な交通環境の充実						
	基本事	業 02	安全で快適な	ば路の整	<u>備</u>				
古世の口も	道路管	理計画の基礎			手税の算定、道	直路統計調査等	ま) として活月	用す	
事業の目的	る。								
本帯の畑田		定路線等につ	いて、図面・調書	の修正を行	ううとともに、	道路改良工事	等により区は	或の	
事業の概要			については図面及						
■事業実施結果									
		年度	5年度		6年	度	7:	年度	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績 当初		当初	
	ź	総事業費	21, 879		14, (886	18,	900	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	示句例	单位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移		道路台帳図面及	15 细 妻 利 田 孝 粉	,	712	476	300	300	
担信の批修		坦昭古版区画及	い神音利用有数	^	712	470	300	300	
		地方交付税算定	及び道路統計調査等	件	2	2	2	2	
		への活用件数			2	_	۷.		
	評価)多少は達		成できず			
達成度の		道路台帳閱	閲覧方法を電子化	することに	より、市民や	業者の閲覧が	スムーズに行	iわれるように	
評価と説明	説明	なった。							
見直し余地	判定	〇数年内I	<u> こ見直し可能 (</u>	<u>)余地はあ</u>	るがまだ時間]が必要 ●弁	<u>₹地なし</u>		
		Action)]							
事業の方向性			状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 ○拡大	: ●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\	

事務事業調書(:評価)							
事務事業名	道路用	地事務処理事	業			事業開	始年度 平	成26年度		
担当課	建設部	3 建設課			担当者	(機)	藤 靖明			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】			•	*				
	政策	05			全な都市機能					
総合計画体系	施策	01	安全で快適な							
		本事業								
事業の目的		道路内に存在する私有地について、寄附を受けることで未登記道路の解消に努め、公共用地								
予末の口口		な管理を推進								
事業の概要			有地を確認後、地	性権者から	寄附を受託し、	法務局に所有	育権移転登記る	を申		
	<u>請する</u>									
■事業実施結果	【実施									
		年度	5年度		6年			年度		
事業費の推移		責/当初予算	実績			績		当初		
		総事業費	1, 230		3, 6	72	4,	242		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標		票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	10.1	ж.П.lu.	+12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	所有権移転の数		筆数	47	28	20	20		
1日1次~21年19	/ * /*	IN IN IEID TAVO		+30	77	20	20	20		
	/		o v 1 >+ 1	<u> </u>	F	- h - h 18				
	評価)多少は達		成できず				
達成度の			くトを見直し、係	全体が協力]することで達	成することが	できた。			
評価と説明	説明	1								
	- No. 1 - 1	1 0 * 5 ± 1		- A 111.7 L L	7 18-4 18-14-15	118 N T O /	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			
見直し余地	判定		こ見直し可能	●余地はあ	<u>るがまだ時間</u>	か必要の	<u> 地なし</u>			
		Action)]	1.15 18 Ls 11 Abit A+	O# 1 -	5-3					
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	一个第	算額 ○拡大	: ●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\		

			評価)								
事務事業名	道路改	7良事業				事業開	開始年度 平	成26年度			
担当課	建設部	3 建設課			担当者	笹	沼雅				
■事業の執行計		画(Plan)】			·	·					
	政策	05	機能的で住み	メやすい安	全な都市機能						
総合計画体系	施策	01	安全で快適な	` 交通環境	の充実						
	基本事	本事業									
古米の口が	市道等	5道等の改良(線形改良、拡幅、排水施設改良等)により、交通の安全確保や産業・生活等									
事業の目的	の利便	性を向上する	ために必要な道路	A環境を提係	共する。						
古米の押用	改良計	·画に基づき、	測量・設計・物件	キ調査・用均	也買収・物件剤		他の手順によ	り事			
事業の概要	業を実	!施する。									
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年	度	7:	年度			
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	当初			
		総事業費	236, 169		335,	488	462	, 134			
■前年度の事業分析【評価(Check)】											
	指標	1 년:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1日1	宗口你	中位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	本年度に改良さ	わた送吹延星		1, 020	610	700	700			
1日1宗 リカエイタ	八木	本年度に収及さ	10亿世的姓氏	m	1, 020	010	700	700			
	評価				成した 〇達						
達成度の			や工事発注を計画	的に実施し	たことにより	、目標を概ね	達成している)			
評価と説明	説明	∄ │									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	<u> が必要 〇余</u>	<u>除地なし</u>				
		Action)]									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了											
資源方向性	予算	算額 ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量)現状 〇縮小	\			

	通常評価	i事業 事後	:評価)							
事務事業名	市道K 1	010号線	他2路線道路改	良事業		事業開	開始年度 ュ	F成 8年度		
担当課	建設部	建設課			担当者	笹				
■事業の執行計		(Plan)			·	•				
	政策	05	機能的で住み	みやすい安	全な都市機能					
総合計画体系	施策	01	安全で快適な	交通環境	の充実					
	基本事業	€ 02	安全で快適な	ば道路の整	備					
古世の口め	現道拡幅	改良し、葛	城大橋を架け替え	こることに。	より、産業・生	上活等の利便性	i 生の向上を図	ると		
事業の目的	ともに、	: もに、中心市街地へのアクセス強化に資する道路を提供する。								
古米の押用	改良計画	に基づき、	測量・設計・物件	キ調査・用均	也買収・物件ネ	甫償・工事実施	他の手順によ	り事		
事業の概要	業を実施	する。						-		
■事業実施結果	【実施(Do)]								
	4	年度	5年度		6年	度	7	/年度		
事業費の推移	実績/	当初予算	実績		実	績		7年度 当初 0		
		事業費	9, 801)				
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】										
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1日1	示句例	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果 整	備率		%	69	69	80	80		
行行示りが代例	八木 罡	伸车		70	09	09	00	00		
	評価	○達成、村	既ね達成した (○多少は達	成した ●達	成できず	•	·		
達成度の		用地交渉が	「難航しており、	目標を達成	だできていない	0				
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	●数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	戻地なし			
■将来方向性【	改善(Ac	tion)]				_		_		
事業の方向性	●見直し		!状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算額	頁 ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	●拡大 C)現状 〇縮/	<u>' </u> \		

	通常評		評価)							
事務事業名	金枝棉	喬・金竜橋線道	路改良事業			事業開	始年度 平	·成19年度		
担当課	建設部	ß 建設課			担当者	é · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	沼 雅			
■事業の執行計	画【計									
	政策	05			全な都市機能					
総合計画体系	施策	01	安全で快適な							
		基本事業 02 安全で快適な道路の整備								
事業の目的	喜連川市街地周辺の地域住民や道路利用者に利便性・快適性・安全性の高い道路を提供する									
ず木の口口			等の安全と市街地							
事業の概要			測量・設計・物件	キ調査・用坩	也買収・物件ネ	捕償・工事実施	色の手順によ	り事		
		<u>施する。</u>								
■事業実施結果	【実施									
		年度	5年度		6年			年度		
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実		È	当初		
		総事業費	0		()		0		
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	培士	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	וחו	ホロ イイク ・	+ 12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	供用開始率		%	0	0	0	30		
1日1次 (7)正19	/××	7777772		/•	•	•	ď	00		
	成果	用地取得率		%	0	0	30	100		
						- 		1.55		
***	評価				成した ● 達					
達成度の	= 24 11		が難航しており、	日標を選り	えできていない	0				
評価と説明	説明	Ħ								
日本し会出	स्य		- 目古上 寸坐 /	<u> </u>	フ <u> </u>	1. 公市 へん	> 1 th + > 1			
見直し余地	<u>判定</u>		こ見直し可能 (ノ东地はめ	るがまだ時間]か必安 03	<u>≷地なし</u>			
■将来方向性【改善(Action)】 事業の方向性【●見直し継続 〇現状どおり継続 〇廃止・完了										
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・			油作 〇紀・	ls.		
資源方向性	原方向性 予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小									

	<u> </u>		·評価)								
事務事業名	市道し	J1-10号道	路改良事業			事業開	始年度 平	成25年度			
担当課	建設部	ß 建設課			担当者	笹:	沼 雅				
■事業の執行計	画【計					<u> </u>					
	政策	05	機能的で住み	みやすい安	全な都市機能						
総合計画体系	施策	01	安全で快適な								
	基本事	基本事業									
+***			を結ぶ重要な路線			と性を確保する	らとともに、F	円滑			
事業の目的			境を提供する。		_ ,,, , , , , , , , ,						
			<u>別と、たいり</u> 測量・設計・物件	‡調査・用力	也買収・物件ネ	#僧・工事実施	の手順により	り 事			
事業の概要		施する。	M_	1 10-3 11 713-	030 12 12111	- 1.70	300 3 7001 - 01	, 1			
■事業実施結果											
		年度	5年度		6年		74	 年度			
事業費の推移	実紀	績/当初予算	実績				7年度 当初 133, 647				
テルダいルフ		総事業費	38, 908		22. 2		7年度 当初 133,647 7年度 8年度 計画 計画				
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標		·	3271	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	指4	票名称	単位	実績	実績					
15 IT 0 14 Th					天祖	天祁					
		±									
指標の推移	成果	整備率		%	关 根 0		20	37			
指標の推移	成果	整備率		%							
指標の推移	成果	整備率		%							
指標の推移			概ね達成し <i>た</i> (, ,	0	0					
	成果	」 ■達成、		多少は達	0 成した ○ 達	0 成できず	20				
達成度の	評価	●達成、	既ね達成した (より用地交渉を行	多少は達	0 成した ○ 達	0 成できず	20				
		●達成、		多少は達	0 成した ○ 達	0 成できず	20				
達成度の 評価と説明	評価説明	重 ●達成、 令和6年度	より用地交渉を行	 <u> </u> つ多少は達 テい、令和	0 <u>成した 〇達</u> 7年度より工事	0 成できず 着手予定であ	20				
達成度の 評価と説明 見直し余地	評価説明	重 ●達成、 令和6年度 目	より用地交渉を行	 <u> </u> つ多少は達 テい、令和	0 成した ○ 達	0 成できず 着手予定であ	20				
達成度の 評価と説明 見直し余地 ■将来方向性【	説明以書(面 ●達成、 令和6年度 同 ○数年内I	より用地交渉を行	○多少は達 うい、令和 ○余地はあ	0 成した 〇達 7年度より工事 るがまだ時間	0 成できず 着手予定であ	20				
達成度の 評価と説明 見直し余地	評価 説明 改善(●達成、 令和6年度 O数年内 Action) L継続 ● 3 	より用地交渉を行	〇廃止・	0 成した 〇達 7年度より工事 るがまだ時間	0 成できず 着手予定であ が必要 ● 分	20	37			

事務事業調書(通常評価		評価)						
事務事業名	市道U	1 5 4 0 号道	路改良事業			事業開	月始年度 名	合和 3年度	
担当課	建設部	建設課			担当者	笹:	沼 雅		
■事業の執行計	画【計画	į (Plan) 】							
	政策	05	機能的で住み	ょやすい安	全な都市機能	;			
総合計画体系	施策	01	安全で快適な	` 交通環境	の充実				
	基本事業	美 02	安全で快適な	ば路の整	<u>備</u>				
古世の口む	生活拠点	や産業拠点	を結ぶ重要な路線			全性を確保する	らとともに、	円滑	
事業の目的		こ移動できる交通環境を提供する。							
丰			測量・設計・物件	⊧調査・用均	也買収・物件ネ		の手順によ	り事	
事業の概要	業を実施								
■事業実施結果	【実施(
		年度	5年度		6年	- 度	7	/年度	
事業費の推移	実績/	/当初予算	実績		実	実績当初		当初	
	総	事業費	18, 503		26, 8	395		0	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	宗	中位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果整	· 禁備率		%	0	0	0	0	
担保の推修	八十 笠	三川平		90	U	U	U	U	
	評価	■達成、村	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず		·	
達成度の		令和3年度	に業務委託を実施	し、昨年	度一部土地を 耳	取得済み。その	の他の用地交	渉を令和8年度	
評価と説明	説明	より実施し	ノ、令和14年度か	ら工事着手	予定である。				
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	戻地なし		
■将来方向性【	改善(Ac								
事業の方向性	業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了								
資源方向性	予算?	額 ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	●拡大()現状 〇縮	<u>'</u>	

事務事業調書(評価)							
事務事業名	市道整	E備補助事業				事業開	開始年度 令	和 4年度		
担当課	建設部	ß 建設課			担当者	金	田 昂平			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】			•					
	政策	05	機能的で住み							
総合計画体系	施策	01	安全で快適な							
		本事業								
事業の目的		開発行為に伴い必要となる道路の整備に要する費用の一部を補助することにより、生活道路								
サネッロリ		を図るため								
事業の概要	開発区	域外の道路整	備に対する補助							
■事業実施結果	【実施									
		年度	5年度			度				
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績			!績		7年度 当初 2,000		
		総事業費	2, 000		1, 391 2, 000			000		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	161	未 但 你	平位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	 整備件数		件	1	2	2	2		
コロリホマノリエリタ	/%.A	正洲门奴		11	•	_	_			
	評価)多少は達		<u> 怪成できず</u>				
達成度の			舞接地で、補助金	を2件交付	けした。					
評価と説明	説明									
	-11	- 0 11 5 1 1	- 	S A 1.1 1 1 -						
見直し余地	判定		こ見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	引が必要 ● 分	<u>k地なし</u>			
		Action)]	7 15 18 1. 11 Aut 4	<u> </u>						
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	現状 〇縮小	١		

1 100 1 010 10 1	通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	道路維	持補修事業				事業開	開始年度 平	成17年度	
担当課	建設部	建設課			担当者	金	田 昂平		
■事業の執行計	画【計					•			
	政策	05	機能的で住み	ょやすい安	全な都市機能	3			
総合計画体系	施策	01	安全で快適な						
	基本事	業 03	道路・橋梁 <i>0</i>)長寿命化	と維持管理				
事業の目的	市道通	行の安全を保							
事業の概要	ている	0	いて、補修の必要	栗性・優先	順位等を検討し	し、計画的に修	§繕工事を実が	色し	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度			F <u>度</u>		丰度	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績			:績		首初	
		総事業費	254, 119		234,	548	352,	412	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	培	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	111	未但你	平位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移		道路維持補修必 率	要箇所への補修対応	%	81. 8	80. 9	100	100	
	評価	i 〇達成、	概ね達成した	●多少は達	成した 〇遺	惺成できず	•		
達成度の 評価と説明	道路補修等必要件数21件に対し、17件の補修等工事を実施した。 説明								
見直し余地	判定	2 〇数年内	に見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●弁	戻地なし		
■将来方向性【		Action)]							
事業の方向性	事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了								
資源方向性	予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小								

			(評価)							
事務事業名	道路維	持管理事業				事業開	開始年度 平	成17年度		
担当課	建設部	建設課			担当者	金	田 昂平			
■事業の執行計						,				
	政策	05	機能的で住み			:				
総合計画体系	施策	01	安全で快適な	ì交通環境	の充実					
	基本事	基本事業 03 道路・橋梁の長寿命化と維持管理								
事業の目的	市道の	日常的な維持	管理を迅速に行う) _o						
事業の概要			行うことにより、 急的な維持復旧を				生及び安全性の	の向		
■事業実施結果	【実施									
		年度	5年度		6年	 F度	74	年度		
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績		実績当初		当初			
	i	総事業費	127, 886		119,	020	146	, 002		
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】										
	指標	指	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1日1	未但你	平位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	道路維持管理業 所数(氏家地区	務委託で修繕した箇 ・喜連川地区)	箇所	82	84	90	90		
	評価	i ●達成、	概ね達成した ()多少は達	成した 〇遺	፤成できず	,			
達成度の 評価と説明	市民から寄せられる補修・修繕の要望については、適宜対応している。 説明									
見直し余地	判定		に見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●会	戻地なし しょうしん			
		Action)]								
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	予算	算額 ●拡大	、○現状 ○縮小		業務量	●拡大()現状 〇縮小	`		

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	橋梁維	持事業				事業開始年度 平成17年度				
担当課	建設部	建設課			担当者	金	田 昂平			
■事業の執行計	計画【計画 (Plan) 】									
	政策 05 機能的で住みやすい安全な都市機能									
総合計画体系	施策	01	安全で快適な交通環境の充実							
		基本事業 03 道路・橋梁の長寿命化と維持管理								
事業の目的	橋梁交	橋梁交通の安全を図る。								
事業の概要	橋梁の	橋梁の定期点検を実施し維持管理を行う。 橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、劣化改修工事を実施する。								
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年度		7年度			
事業費の推移	実終	実績/当初予算 実績			実績		当初			
	総事業費 18,843				13, 266		68, 656			
■前年度の事業	分析【	評価(Check)								
	指標			単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分			単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	点検が完了した	橋梁数	橋	51	56	59	58		
	成果	点検した結果、 梁数	安全が確認された橋	橋	51	56	59	58		
	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず									
達成度の 評価と説明	橋梁点検については計画どおり実施している。 説明									
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性			状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性			○現状 ○縮小		業務量	●拡大()現状 〇縮小	\		

事務事業調書(通常評価事業 事後評価)										
事務事業名	道路照	閉明灯LED化	2改修事業			事業開	始年度 令	和 4年度		
担当課	建設部	ß 建設課			担当者	金	田 昂平			
■事業の執行計画【計画(Plan)】										
	政策 05 機能的で住みやすい安全な都市機能									
総合計画体系	施策 01 安全で快適な交通環境の充実									
	基本事業 03 道路・橋梁の長寿命化と維持管理									
事業の目的	既存の道路照明をLED化することにより、省エネルギーと地球温暖化抑制に貢献する。									
事業の概要	既存の道路照明(126基)の規格について、水銀灯・ナトリウム灯→LEDに変更する。									
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度 5年度			6年度		7年度			
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績	実績		実績		当初		
		総事業費	0		0		0			
■前年度の事業	<u>分析【</u>	評価 (Check)]							
	指標	指標名称		単位	5年度 実績	6年度	7年度	8年度		
	区分	JH1	宗17 17	11小 丰区		実績	計画	計画		
指標の推移	成果	LED化改修率		%	100	78. 5	78. 5	100		
	評価	ऻ ●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず	•			
達成度の	建設課が管理する道路照明134基については、令和4年度に全てLED化が完了したが、上阿久									
評価と説明	説明	説明 津台地区画整理事業地内の道路照明36基と旧那須烏山矢板線の道路照明2基が建設課に帰属								
		されたこと	こから、引き続き	LED化に取	組むものである	5 。				
見直し余地										
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性										

	通常評		評価)								
事務事業名	道普請事業 事業開始年度 平成21年										
担当課	建設部	建設課			担当者	金	田 昂平				
■事業の執行計	画【計画(Plan)】										
	政策	05									
総合計画体系	施策	01	安全で快適な		全な都市機能 の充実						
10 11 11 11	基本事	業 03	道路・橋梁0								
事業の目的		予算化が難しい市道以外の道路整備(認定外道路や私道)の促進									
事業の概要	生活道	道普請:整備に必要な原材料を市が支給し、地域住民の労力奉仕で整備工事を行う。 生活道路舗装整備補助金:行政区が行う生活道路の舗装工事の一部または全部を補助する。									
■事業実施結果	【実施	(Do)									
	年度 5年度				6年	- 度	7年度				
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績		当初				
	総事業費 309				9, 021		12, 800				
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)									
	指標	指標名称		単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1日1	宗石孙	中世	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	整備件数(道普	請)	件	1	2	2	2			
	八米	金)	道路舗装整備補助	件		9	12	18			
	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず										
達成度の	道普請においては予算計上2件に対し2件の申請があった。										
評価と説明	説明 生活道路舗装整備補助金においては予算計上9件に対し9件の申請があった。										
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし										
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性											
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小										

事務事業調書(<u></u>		評価)							
事務事業名	公共交通計画再構築事業 本表記 本業開始年度 平成21年度									
担当課	総合政	放策部 総合政	策課		担当者	t 田·	代優美			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策 05 機能的で住みやすい安全な都市機能									
総合計画体系	施策 01 安全で快適な交通環境の充実									
13 - 11 - 11 11	基本事業 99 総合事業									
±** 0 0 44	現行の公共交通の運行状況の分析結果に基づき、利用しやすく、かつ、継続性の高い新たな									
事業の目的	公共交通を整備・維持する。									
—				つつ、さくに	る市地域公共る	交通計画(R6年	E3月策定)に	掲		
事業の概要	さくら市地域公共交通会議で協議しつつ、さくら市地域公共交通計画(R6年3月策定)に掲 げる目標の達成を図るための事業を実施する。									
■事業実施結果			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<u> </u>						
		年度	5年度		6年度		7年度			
事業費の推移	実績/当初予算 実		実績	実		績 当初		首初		
		総事業費	4, 289			273		408		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)								
	指標	+15.4	ボ ク 1 ケ	友 \$ 大	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1百个	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
+に+亜 ヘ+4・4々		市内のバスに満	足している市民の割	している市民の割 %	20. 2	01 4	40	40		
指標の推移	成果	合			38. 3	31. 4	40	40		
	成果	市内のデマンド	交通に満足している		62. 2	53. 6	65	75		
	八米	市民の割合					00			
	評価 ○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず									
達成度の	コロナ禍による利用者数の減少の影響は、改善しているが回復しきってはいない。									
評価と説明	説明	説明 R7.2月に導入したAIオンデマンド交通システムによりデマンド交通の利用を促進し、利用者								
		の増加及び満足度向上を目指す。								
見直し余地	判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
■将来方向性【	改善(Action)]	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
事業の方向性	●見直	夏し継続 ○翌	状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									